

2016年3月期 第2四半期累計期間 決算説明資料

1 連結業績の概要

1) 連結業績概要	…P. 2
2) 売上高の変動要因	…P. 3
3) 営業利益の変動要因	…P. 4

2 連結業績の詳細

1) セグメント別売上高・営業利益	…P. 5
2) 設備投資他	…P. 13
3) 損益計算書・包括利益計算書	…P. 14
4) 貸借対照表	…P. 15

3 2016年3月期 業績予想

1) 2016年3月期 業績予想	…P. 16
2) セグメント別売上高・営業利益	…P. 17
3) 海外地域別売上高	…P. 19
4) 設備投資他	…P. 20
5) 2016年3月期 配当	…P. 21

4 その他の情報

1) 海外市場 業績推移	…P. 22
2) トピックス	…P. 24

- 2016年3月期第1四半期連結会計期間より、海外現地法人の収益及び費用の換算方法を「直物為替相場」から「期中平均相場」に変更しております。この変更は遡及適用され、前期の財務数値及び前年同期(前期)比較については遡及適用後の数値を記載しております。
- 2016年3月期第1四半期より、「当期(四半期)純利益」を「親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益」としております。
- 当資料の増減率、構成比は、百万円以下を切り捨てた数値を基に算出しており、決算短信の増減率とは異なる場合があります。
- 本資料に記載されている、業績見通し等の将来に関する情報は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。

2016年3月期 第2四半期累計期間

1

連結業績の概要

連結業績概要 前年同期比

売上高

金融市場、流通・交通市場、海外市場において販売が増加し、前年同期に比べ増収。

営業利益

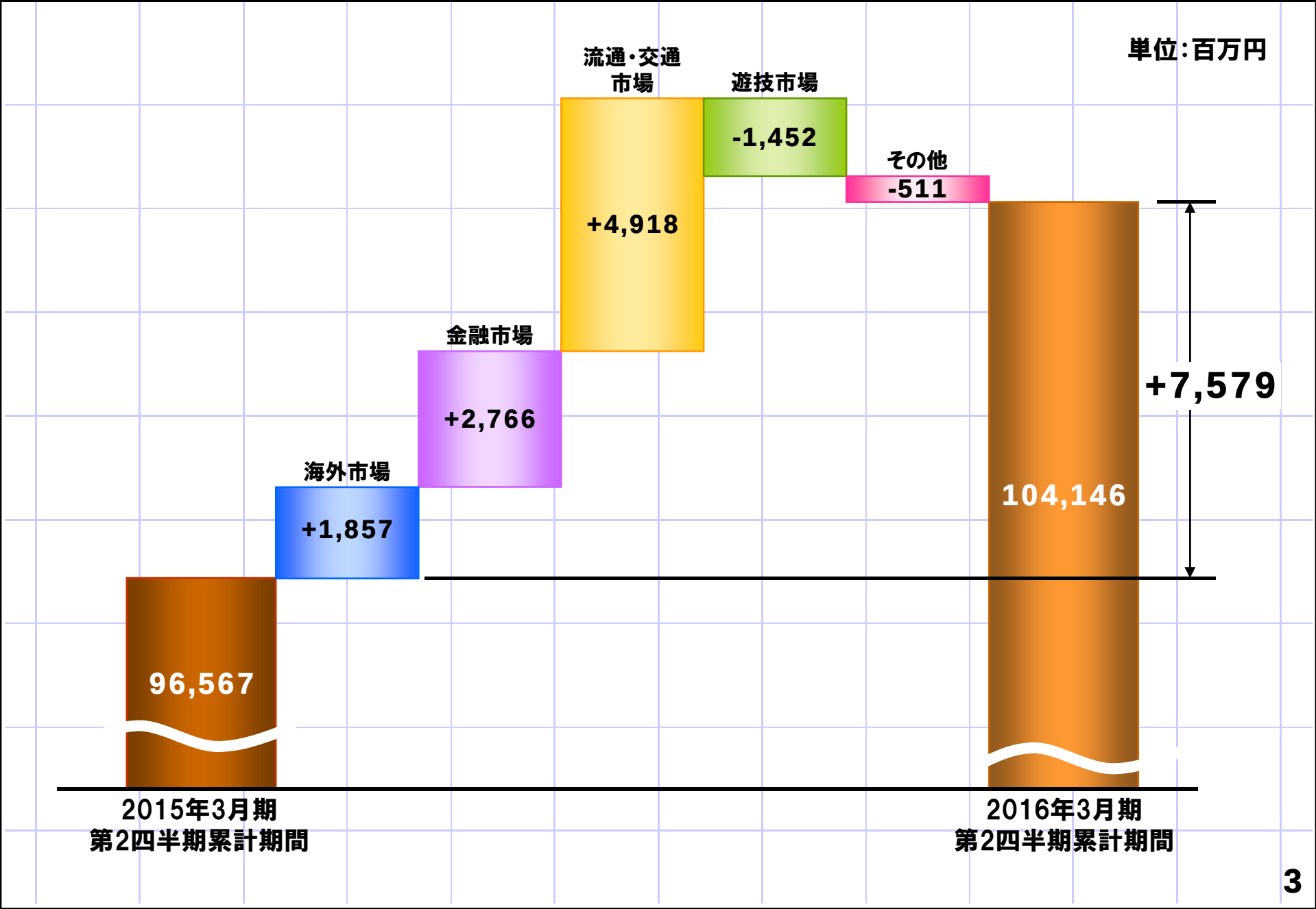
金融市場、流通・交通市場の売上高拡大が牽引し、前年同期に比べ増益。

(百万円)	2015年3月期		2016年3月期		前年同期比
	第2四半期累計期間	売上高比率	第2四半期累計期間	売上高比率	
売上高	96,567	100.0%	104,146	100.0%	+7.8%
内 保守売上高	30,560	31.6%	32,169	30.9%	+5.3%
営業利益	4,987	5.2%	6,725	6.5%	+34.9%
経常利益	6,708	6.9%	6,691	6.4%	-0.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,073	4.2%	3,016	2.9%	-26.0%
※ EBITDA	12,410	12.9%	14,284	13.7%	+15.1%

為替 レート	ドル	103 円	122 円
	ユーロ	140 円	134 円
	ポンド	173 円	188 円

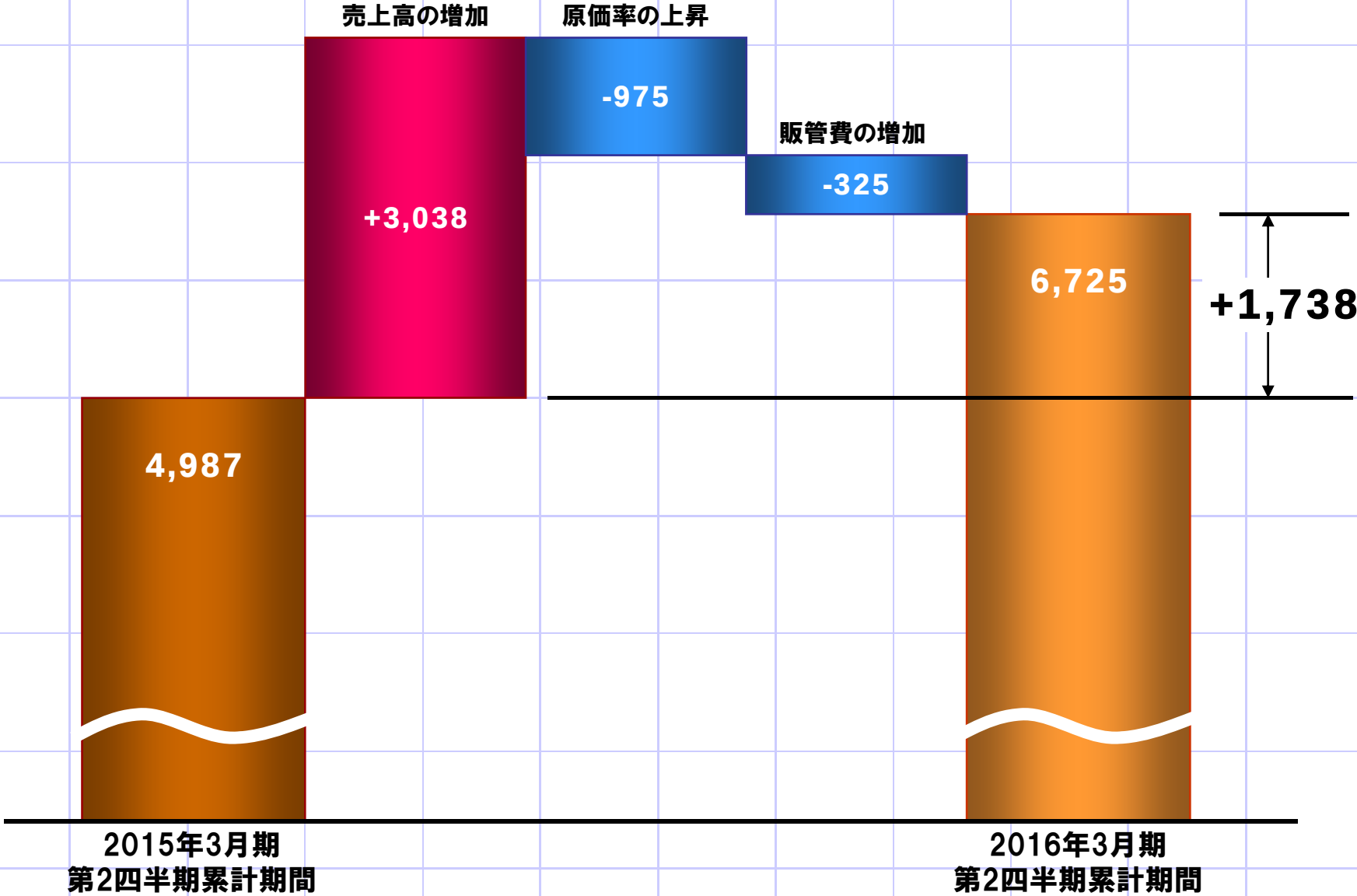
※EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費

売上高の変動要因（セグメント別）



営業利益の変動要因

単位:百万円



2016年3月期 第2四半期累計期間

2

連結業績の詳細

セグメント別売上高・営業利益 前年同期比

(百万円)	売上高			営業利益		
	2015年3月期	2016年3月期	前年同期比	2015年3月期	2016年3月期	前年同期比
	第2四半期累計期間	第2四半期累計期間		第2四半期累計期間	第2四半期累計期間	
 海外市場	44,327	46,184	+1,857 +4.2 %	1,379	891	-488 -35.4 %
 金融市場	20,670	23,436	+2,766 +13.4 %	1,520	2,901	+1,381 +90.9 %
 流通・交通 市場	13,561	18,479	+4,918 +36.3 %	1,038	2,199	+1,161 +111.8 %
 遊技市場	12,198	10,746	-1,452 -11.9 %	1,211	847	-364 -30.1 %
 その他	5,810	5,299	-511 -8.8 %	-163	-114	+49 - %
合 計	96,567	104,146	+7,579 +7.8 %	4,987	6,725	+1,738 +34.9 %

紙幣入出金機の販売が好調

単位:百万円

欧州やアジアにおいて「紙幣整理機」の販売は低調であったものの、米州や欧州において主要製品である「紙幣入出金機」の販売が好調。また、欧州において流通市場向け「紙幣硬貨入出金機」の販売が好調であり、市場全体としては前年同期並みで推移。

セグメントの概要

海外の金融機関、警備輸送会社、小売店、カジノ、OEM先等への販売・保守

主要製品



紙幣入出金機
RBGシリーズ



紙幣整理機
UWシリーズ



紙幣硬貨入出金機
CI-100シリーズ

	2015年3月期 第2四半期累計期間	2016年3月期 第2四半期累計期間	前年同期比
売上高	44,327	46,184	+1,857 +4.2 %
構成比率	45.9%	44.3%	-1.6 pt
営業利益	1,379	891	-488 -35.4 %
構成比率	27.7%	13.2%	-14.5 pt
営業利益率	3.1%	1.9%	-1.2 pt

地域別売上高

(百万円)	2015年3月期	2016年3月期	前年同期比
	第2四半期累計期間	第2四半期累計期間	
米州	13,364	16,986	+3,622 +27.1 %
欧州	19,097	19,338	+241 +1.3 %
アジア	8,312	5,964	-2,348 -28.2 %
中国	3,149	2,541	-608 -19.3 %
地域別合計	40,774	42,288	+1,514 +3.7 %
OEM	3,552	3,895	+343 +9.7 %
合 計	44,327	46,184	+1,857 +4.2 %

主要製品の販売が好調

単位:百万円

主要製品である「オープン出納システム」の販売は中小規模店舗向けのコンパクトタイプが好調であり、また、窓口用「紙幣硬貨入出金機」の販売も更新需要を捉え好調。

セグメントの概要

国内の金融機関、OEM先等への販売・保守

主要製品



オープン出納システム
WAVEシリーズ



窓口用
紙幣硬貨入出金機
RBシリーズ



多能式紙幣両替機
ENシリーズ

	2015年3月期 第2四半期累計期間	2016年3月期 第2四半期累計期間	前年同期比
売上高	20,670	23,436	+2,766 +13.4 %
構成比率	21.4%	22.5%	+1.1 pt
営業利益	1,520	2,901	+1,381 +90.9 %
構成比率	30.5%	43.1%	+12.6 pt
営業利益率	7.4%	12.4%	+5.0 pt

レジつり銭機の販売が好調

単位:百万円

主要製品である「レジつり銭機」の販売は好調であり、また、流通市場向け「小型入金機」や警備輸送市場向け「売上金入金機」の販売も更新需要を捉え好調。

セグメントの概要

国内のスーパーマーケット、百貨店、警備輸送会社、鉄道会社等への販売・保守

主要製品



レジつり銭機
RT/RADシリーズ



売上金入金機
DSSシリーズ



小型入金機
DSシリーズ

	2015年3月期 第2四半期累計期間	2016年3月期 第2四半期累計期間	前年同期比
売上高	13,561	18,479	+4,918 +36.3 %
構成比率	14.0%	17.7%	+3.7 pt
営業利益	1,038	2,199	+1,161 +111.8 %
構成比率	20.8%	32.7%	+11.9 pt
営業利益率	7.7%	11.9%	+4.2 pt

カードシステム等の販売が低調

単位:百万円

主要製品である「カードシステム」等の販売は、ホールの設備投資抑制の影響を受け低調。

セグメントの概要

国内の遊技場(パチンコホール等)への販売・保守

主要製品

カードシステム



管理ターミナル



カードユニット



カード精算機

賞品保管機
JKシリーズ

売上高

2015年3月期
第2四半期累計期間2016年3月期
第2四半期累計期間

前年同期比

12,198

10,746

-1,452
-11.9 %構成
比率

12.6%

10.3%

-2.3 pt

営業
利益

1,211

847

-364
-30.1 %構成
比率

24.3%

12.6%

-11.7 pt

営業
利益率

9.9%

7.9%

-2.0 pt

たばこ販売機等の販売が好調

単位:百万円

たばこ販売機の販売は、更新需要を捉え好調であり、また、診療費支払機の販売も順調であったものの、公営競技市場向け当選金払出ユニット等の販売が低調。

(2016年3月期より、券売機の報告セグメントを「その他」から「流通・交通市場」に変更)

セグメントの概要

国内のたばこ販売店、たばこメーカー、病院、自治体、企業等への販売・保守

主要製品



診療費支払機
FHPシリーズ



たばこ販売機
TNRシリーズ



社員食堂向けオートレジスター
PSAシリーズ

	2015年3月期 第2四半期累計期間	2016年3月期 第2四半期累計期間	前年同期比
売上高	5,810	5,299	-511 -8.8 %
構成比率	6.0%	5.1%	-0.9 pt
営業利益	-163	-114	+49 - %
構成比率	-	-	- pt
営業利益率	-	-	- pt

セグメント別売上高・営業利益 予想比

(百万円)	売上高			営業利益		
	2016年3月期 第2四半期累計期間		予想比	2016年3月期 第2四半期累計期間		予想比
	予 想	実 績		予 想	実 績	
 海外市場	47,000	46,184	-816 -1.7 %	1,000	891	-109 -10.9 %
 金融市場	23,000	23,436	+436 +1.9 %	2,500	2,901	+401 +16.0 %
 流通・交通 市場	17,500	18,479	+979 +5.6 %	1,700	2,199	+499 +29.4 %
 遊技市場	11,000	10,746	-254 -2.3 %	800	847	+47 +5.9 %
 その他	6,500	5,299	-1,201 -18.5 %	0	-114	-114 - %
合 計	105,000	104,146	-854 -0.8 %	6,000	6,725	+725 +12.1 %

※予想は2015年8月5日公表値。

設備投資他

(百万円)	2015年3月期 第2四半期累計期間	2016年3月期 第2四半期累計期間	前年同期比	四半期毎の推移					
設備投資額	3,779	4,853	+1,074 +28.4 %	1,182	2,597	2,160	2,560	1,537	3,316
				FY14 (1Q)	FY14 (2Q)	FY14 (3Q)	FY14 (4Q)	FY15 (1Q)	FY15 (2Q)
減価償却費	5,006	4,961	-45 -0.9 %	2,630	2,376	2,854	2,579	2,395	2,566
				FY14 (1Q)	FY14 (2Q)	FY14 (3Q)	FY14 (4Q)	FY15 (1Q)	FY15 (2Q)
研究開発費	6,263	6,852	+589 +9.4 %	2,782	3,481	2,962	3,644	3,003	3,849
				FY14 (1Q)	FY14 (2Q)	FY14 (3Q)	FY14 (4Q)	FY15 (1Q)	FY15 (2Q)

損益計算書・包括利益計算書

(百万円)	2015年3月期		2016年3月期		増減
	第2四半期累計期間	売上高比率	第2四半期累計期間	売上高比率	
売上高	96,567	100.0%	104,146	100.0%	+7,579
売上原価	57,862	59.9%	63,378	60.9%	+5,516
販売費及び一般管理費	33,717	34.9%	34,042	32.7%	325
営業利益	4,987	5.2%	6,725	6.5%	+1,738
営業外収益	2,235	2.3%	753	0.7%	-1,482
営業外費用	514	0.5%	786	0.8%	+272
経常利益	6,708	6.9%	6,691	6.4%	-17
特別利益	25	0.0%	3	0.0%	-22
特別損失	222	0.2%	28	0.0%	-194
税金等調整前四半期純利益	6,510	6.7%	6,667	6.4%	+157
法人税等	2,035	2.1%	3,082	3.0%	+1,047
四半期純利益	4,475	4.6%	3,584	3.4%	-891
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,073	4.2%	3,016	2.9%	-1,057

← **為替差損
252**
(前年同期は1,295百万円
の為替差益)

← **法人税等
3,082**
(前年同期2,035百万円)

四半期純利益	4,475	4.6%	3,584	3.4%	-891
その他有価証券評価差額金	267		-172		-439
為替換算調整勘定	1,218		1,450		+232
退職給付に係る調整額	277		-429		-706
その他の包括利益合計	1,763	1.8%	848	0.8%	-915
四半期包括利益	6,238	6.5%	4,433	4.3%	-1,805

貸借対照表 前期末比

(百万円)	2015年3月末	2015年9月末	増 減	(百万円)	2015年3月末	2015年9月末	増 減
現預金・有価証券	66,776	58,913	-7,863	買掛債務	21,366	18,882	-2,484
売掛債権	55,648	47,257	-8,391	短期借入金	29,445	28,303	② -1,142
棚卸資産	41,630	48,335	+6,705	その他	40,563	34,757	-5,806
その他	10,600	11,163	+563	流動負債合計	91,374	81,942	-9,432
流動資産合計	174,654	165,668	-8,986	長期借入金	32,835	28,166	② -4,669
有形固定資産	35,509	37,166	+1,657	その他	17,859	18,445	+586
顧客関係資産	31,935	31,660	① -275	固定負債合計	50,694	46,611	-4,083
のれん	74,790	73,724	-1,066	負債合計	142,069	128,554	-13,515
その他	6,411	6,387	-24	資本金	12,892	12,892	0
無形固定資産	113,136	111,773	-1,363	利益剰余金	145,165	147,622	+2,457
その他	23,312	21,964	-1,348	その他	46,487	47,503	+1,016
固定資産合計	171,958	170,903	-1,055	純資産合計	204,544	208,017	+3,473
資産合計	346,613	336,572	-10,041	負債純資産合計	346,613	336,572	-10,041

①顧客関係資産、のれんは円安の影響があったものの減少。

②有利子負債は順調に減少。

3

2016年3月期 業績予想

売上高

国内市場での販売拡大が見込まれ、前期に比べ増収を予想。

営業利益

主要製品の販売拡大やコストダウン施策の推進等により、前期に比べ増益を予想。

(百万円)	2015年3月期		2016年3月期		前期比
	通 期	売上高 比率	通期 予想	売上高 比率	
売 上 高	222,356	100.0%	230,000	100.0%	+3.4%
内 保守売上高	63,205	28.4%	65,000	28.3%	+2.8%
営業利益	18,693	8.4%	20,000	8.7%	+7.0%
経 常 利 益	22,211	10.0%	20,000	8.7%	-10.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,887	5.8%	11,500	5.0%	-10.8%
為替 レート	ドル	110 円	120 円		
	ユーロ	140 円	130 円		
	ポンド	177 円	175 円		

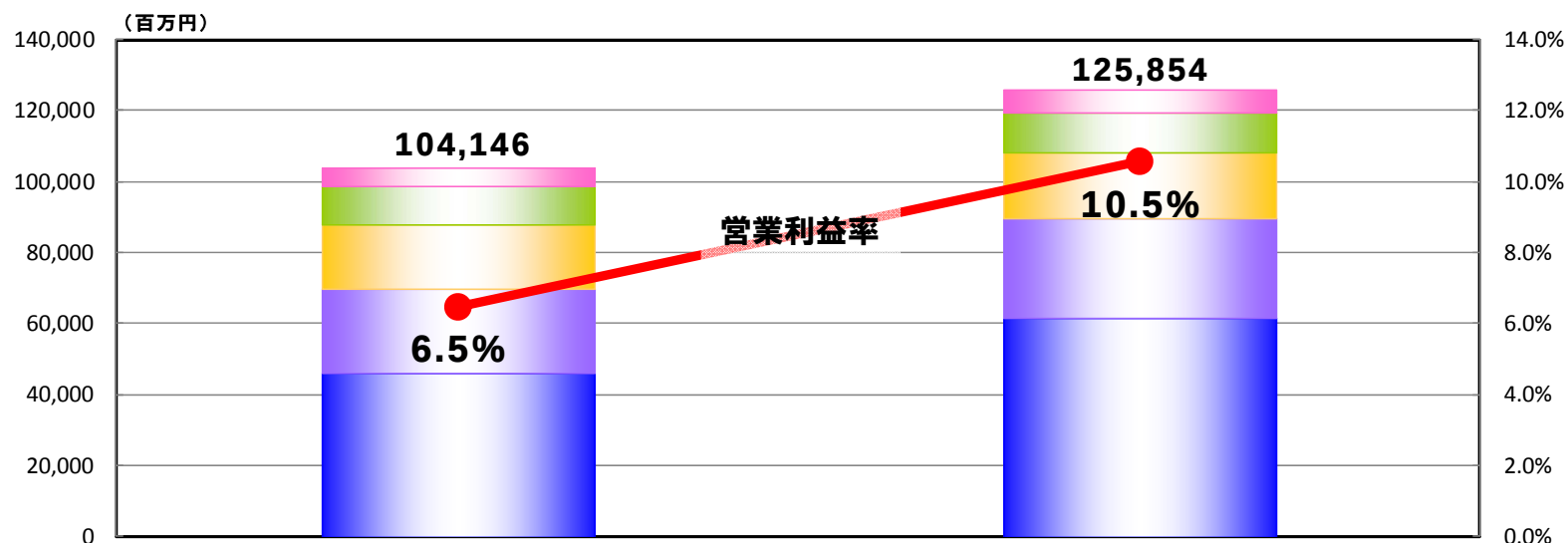
※2016年3月期は想定為替レート

セグメント別売上高・営業利益

(百万円)	売上高			営業利益		
	2015年3月期 通期	2016年3月期 通期 予想	前期比	2015年3月期 通期	2016年3月期 通期 予想	前期比
 海外市場	104,241	109,000 → 108,000	+3,759 +3.6 %	8,057	8,700 → 7,500	-557 -6.9 %
 金融市場	48,116	51,500	+3,384 +7.0 %	5,502	6,100 → 7,000	+1,498 +27.2 %
 流通・交通 市場	29,886	34,500 → 37,000	+7,114 +23.8 %	2,463	3,100 → 3,900	+1,437 +58.3 %
 遊技市場	25,432	22,000	-3,432 -13.5 %	2,460	2,000 → 1,600	-860 -35.0 %
 その他	14,679	13,000 → 11,500	-3,179 -21.7 %	210	100 → 0	-210 - %
合 計	222,356	230,000	+7,644 +3.4 %	18,693	20,000	+1,307 +7.0 %

※2016年3月期 通期予想は、上段が2015年8月5日公表値、下段が2015年11月5日公表値。

セグメント別売上高・営業利益（半期）



（百万円）	上期 実績		下期 予想		通期 予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
海外市場	46,184	891	62,000 → 61,816	7,700 → 6,609	109,000 → 108,000	8,700 → 7,500
金融市場	23,436	2,901	28,500 → 28,064	3,600 → 4,099	51,500	6,100 → 7,000
流通・交通市場	18,479	2,199	17,000 → 18,521	1,400 → 1,701	34,500 → 37,000	3,100 → 3,900
遊技市場	10,746	847	11,000 → 11,254	1,200 → 753	22,000	2,000 → 1,600
その他	5,299	-114	6,500 → 6,201	100 → 114	13,000 → 11,500	100 → 0
合 計	104,146	6,725	125,000 → 125,854	14,000 → 13,275	230,000	20,000

※2016年3月期 下期・通期予想は、上段が2015年8月5日公表値、下段が2015年11月5日公表値。

海外地域別売上高

(百万円)	上期 実績		下期 予想		通期 予想	
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前期比
米州	16,986	+27.1 %	21,000 → 21,014	+1.4 %	36,500 → 38,000	+11.5 %
欧州	19,338	+1.3 %	23,000 → 22,662	+4.2 %	42,000	+2.8 %
アジア	5,964	-28.2 %	13,500 → 13,036	+3.7 %	22,000 → 19,000	-9.0 %
中国	2,541	-19.3 %	9,000 → 6,959	-6.2 %	12,000 → 9,500	-10.1 %
地域別合計	42,288	+3.7 %	57,500 → 56,712	+3.0 %	100,500 → 99,000	+3.3 %
OEM	3,895	+9.7 %	4,500 → 5,105	+5.1 %	8,500 → 9,000	+7.0 %
合 計	46,184	+4.2 %	62,000 → 61,816	+3.2 %	109,000 → 108,000	+3.6 %

※2016年3月期 下期・通期予想は、上段が2015年8月5日公表値、下段が2015年11月5日公表値。

設備投資他

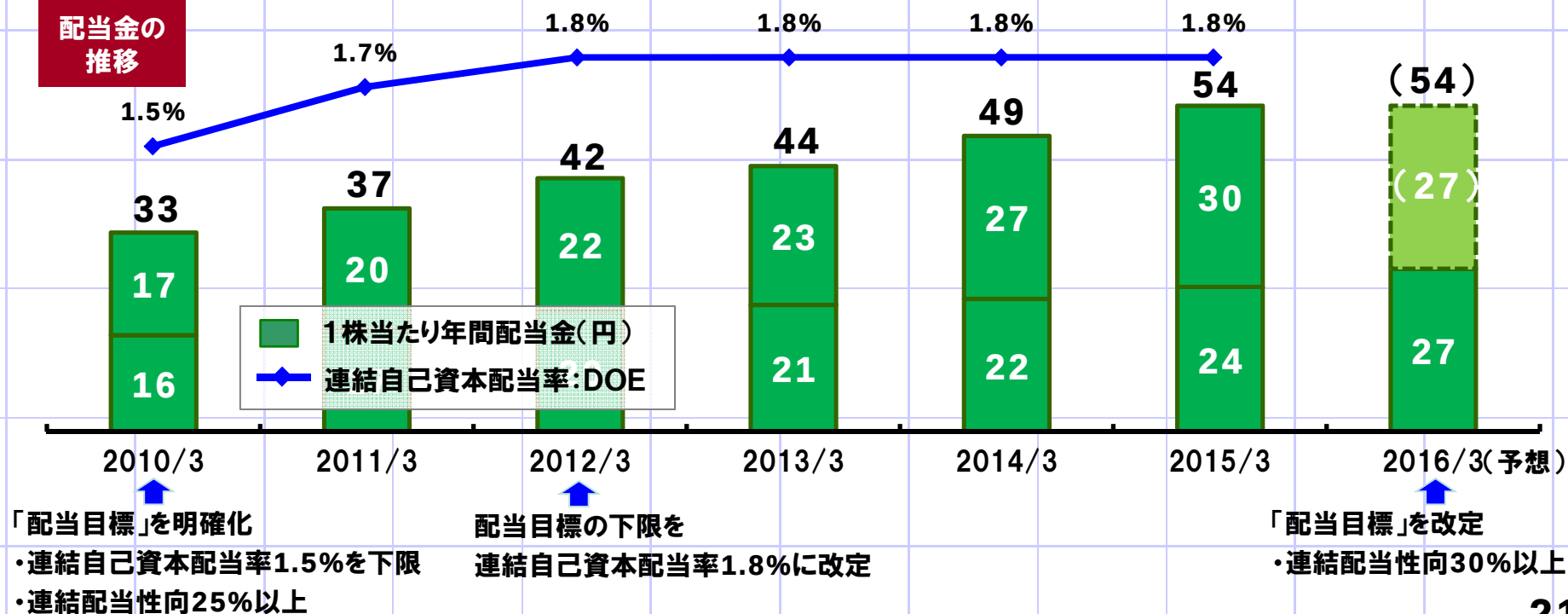
(百万円)	2015年3月期 通 期	2016年3月期 通期 予想	前期比	半期毎の推移			
設備投資額	8,499	9,000	+501 +5.9 %	3,779 FY14 1H	4,720 FY14 2H	4,853 FY15 1H	4,147 FY15 2H(予)
減価償却費	10,259	10,500	+241 +2.3 %	5,006 FY14 1H	5,253 FY14 2H	4,961 FY15 1H	5,539 FY15 2H(予)
研究開発費	12,869	13,000	+131 +1.0 %	6,263 FY14 1H	6,606 FY14 2H	6,852 FY15 1H	6,148 FY15 2H(予)

2016年3月期の配当について

利益配分に関する基本方針

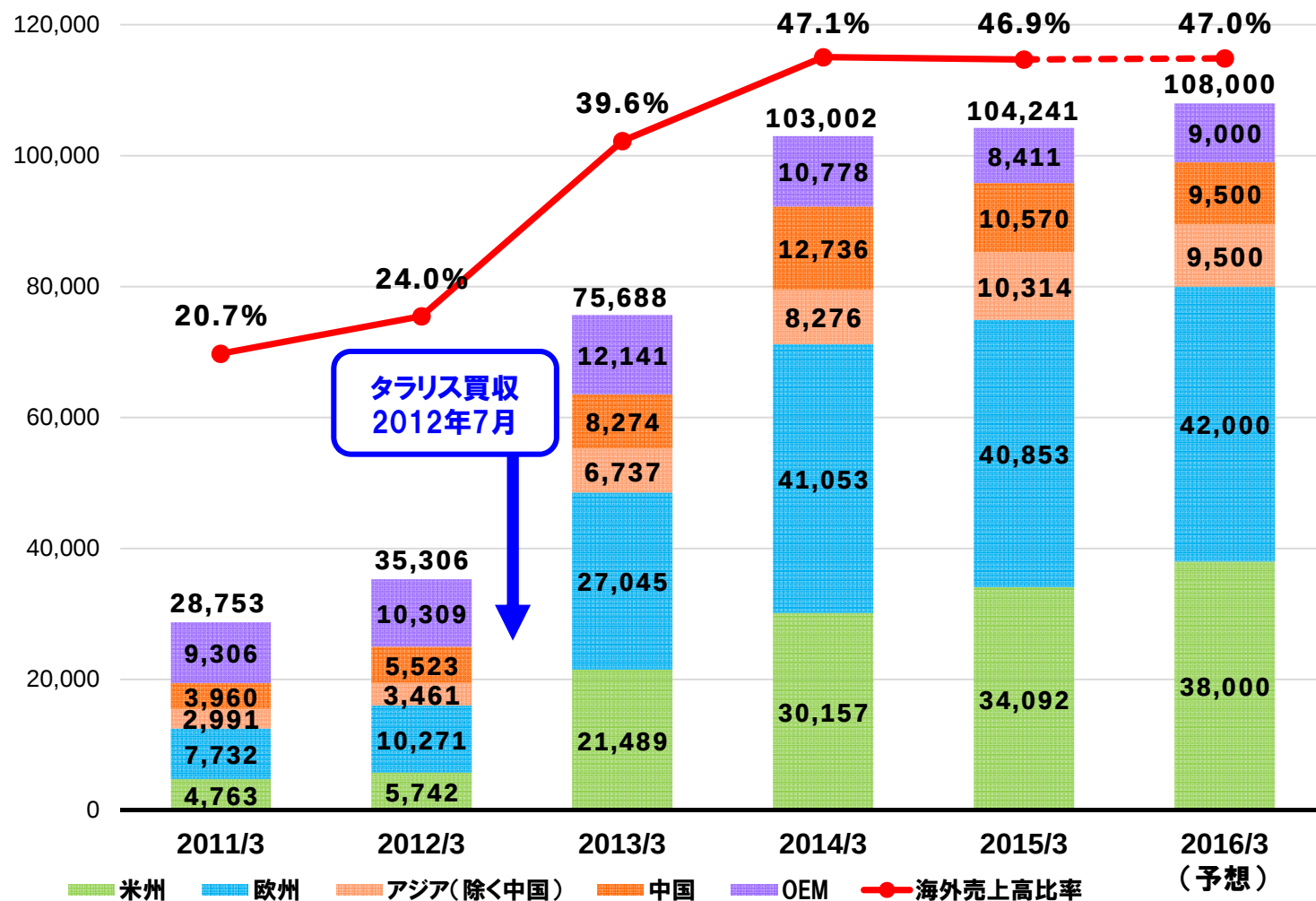
株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題と位置づけ、将来の事業展開に備えた財務体質の維持・強化を図りつつ安定した配当を継続していくことを基本方針とし、当期より、目標指標を「連結自己資本配当率」及び「連結配当性向」から、**「連結配当性向」のみに改め、その目標数値を25%以上から30%以上に引き上げております。**

1株当たりの配当金	第2四半期末	期末予想	年間予想
	27円	27円	54円 (配当性向30.8%)

配当金の
推移

4 その他の情報

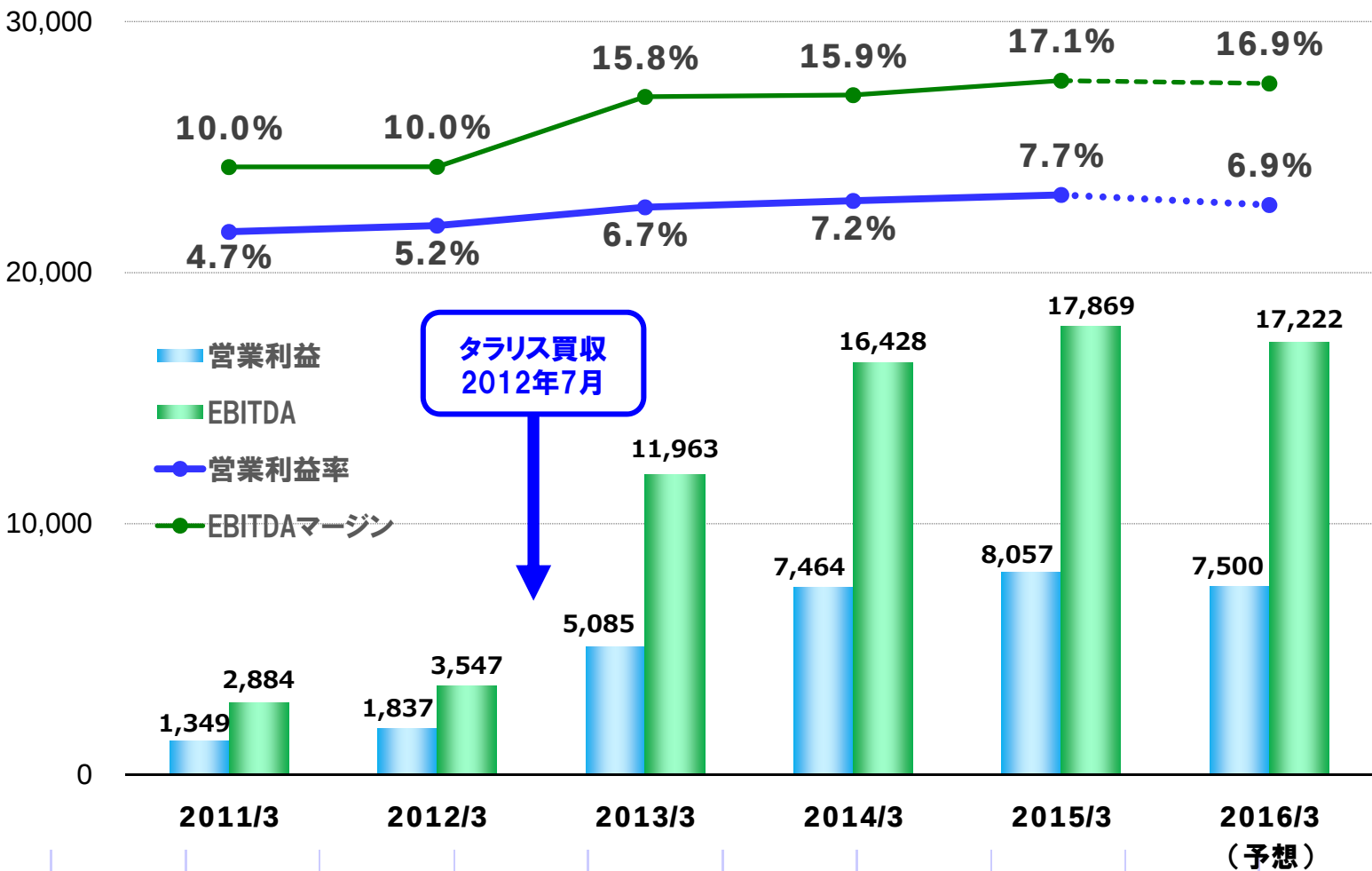
(百万円)



※為替レート 2014年3月期まで:期末日レート、2015年3月期以降:期中平均レート

海外市場 営業利益とEBITDAの比較

(百万円)



※1:為替レート 2014年3月期まで:期末日レート、2015年3月期以降:期中平均レート
 ※2:EBITDA(海外)=営業損益+減価償却費+のれん償却費
 ※3:EBITDAマージン(海外)=(営業損益+減価償却費+のれん償却費)÷売上高

2015年ミラノ国際博覧会 日本館に券売機を提供

日本館に併設されたフードコートに、海外流通市場向け製品
CASHINFINITY™を搭載した券売機を提供。



2015年ミラノ博覧会

開催期間:2015年5月1日～10月31日

開催場所:イタリア ミラノ

テーマ:「地球に食料を、生命にエネルギーを」

概要:世界約140カ国が各国館で食文化や
食品に関する技術を紹介



上海ディズニーストアにCASHINFINITY™を納入

納入製品

- ・紙幣・硬貨つり銭機CI-10
- ・紙幣・硬貨入出金機CI-100
- ・紙幣入金機GFS-100
- ・鍵管理機KBS



紙幣・硬貨つり銭機 CI-10



店内に設置されたCIシリーズ

上海ディズニーストア

2015年5月20日にオープンした中国初のディズニーストア。
店舗面積は世界最大級。

2015年7月 国産初の硬貨計数機が「機械遺産」に認定

認定理由

硬貨を計数する国産初の機械として、
銀行業務の省力化・高信頼化に大きく寄与。



機械遺産

歴史に残る機械技術関連遺産を大切に保存し、
文化的遺産として次世代に伝えることを目的に、
主として機械技術に関わる歴史的遺産を
一般社団法人 日本機械学会が認定。



1950年開発